日刊 昭和21年8月1日 (1)
（毎月3回）第三種郵便物認可
昭和24年2月23日 通商産業省特別販売認可第238号
いわき民報 夕刊 昭和29年1月17日（日曜日） 第2349号

夕刊 いわき民報
発行所 平市田町48 電381 1222 いわき民報社
印刷兼発行人 編集兼 田原 登

洋品 セーター 毛布
中野洋品店
平・二飛ら3.

小名濱町長選挙を語る座談會 本社記者（上）

小名浜町長選挙は十一日告示と同時に言論戦の幕が切って落され僅か十日間の選挙運動のため志賀要平、立花秀吉両候補の戦は予想以上に激しくいよいよ二十一日の投票日を間近に控えて最後の追込戦に馬力を入れている、本社は勢力伯仲といわれる今度の町長選挙について取材の第一線に働く記者たちから選挙運動の models きやこれに関する街の話題を聞いて見た

司會 只今開会致します

出席者

司会　田原報道部長
伊藤小名浜支社長ほか本社及び小名浜支社の取材記者

司會 只今開会致します

発や常磐地区総合開発で小名浜町の重要性は一層強まり県内は勿論東北のホープとしてその発展振りは各方面から大きな期待を持たれている特に泉、江名、渡辺の三カ町村に合併入れを行った小名浜は市制施行も時間の問題でその意味からも今度の町長選挙は初代市長の選挙だという性格を多分にもつておると思う、今日はこの町長選挙について街で拾った話など面白く然も何者にも制ちゆうされずに充分にキタンのない話を聞せてもらいたいと思う

C 選挙法によると色々の制限がある、これを選挙管理委員会に聞いて見るとポスターは一人百枚、供託金はいらない、委員会主催により立合演説会というものもない

D 選挙長は誰になつているのかくね

A 立花が強いとゆう声はよく聞くが勢力伯仲といつても見ようによつて色々強弱の線が出て来るだろう

司會 選挙上手とかお話がうまいというだけではどうにもならない、要するに小名浜の首長として恥しくない人物つまり人格者であるかどうかということだ、やはり人格高潔ということが第一の要件だと思うな

B この前の町長選挙ではお話の上手な立花さんと話下手の水野さんが争つて結局話の下手な水野さんが勝つたというのも面白い先例だつた、あのときは立花さんはリコールの直後で町民もまた「悪いことを絶対しない町長候補を選べ」といつた考え方が相当強かつたからだと思う

C それはいつの世になつても「悪いことを絶対しない人」をのが当然で志賀と立花の人格を育成者が本当によく研究し大小名浜の建設に寄り進せすに真直ぐ進める人を出すことが大切だ

司會 今度の立候補は三人だつたのか

C 両候補とも推薦届のごときものでいたようだつたが不備な点があつて推薦届でなくなつた

司會 その顔ぶれは判るか

B 立花候補の方からいうと永山辰之助、小野務平、三代義勝、鈴木治作、若松惣吉、江尻二郎、勇方長作、馬目喜衛門、小野作太郎、佐藤政治、佐川兵五、高木嘉一郎、稲葉実、小野一義、馬上次郎、佐川広一、藤田慈、滝田延季、佐藤貞吉、松本保夫、馬上融、高橋鉄次郎、吉田公安、飯塚仁一となつている

司會 志賀候補の顔ぶれはどうだ

A 志賀候補の方は西丸猛、近藤安雄、平野直康、富塚勝太郎、鈴木房吉、菅原勲、斎藤晃、小野礼一、田島繁夫、岡山武、高荻庵、小野義一、長瀬彰義、木田谷平、比佐政雄、丹賢一、黒沢広、中島勝、藤社大一、小島大造、鈴木貴義、飯塚新四郎、野崎貞行、鈴木イセ、柳内安子、長瀬啓一、松原文吾、小島源一郎、吉田利治、吉田子之吉、長瀬佳太郎、小浜長太郎、坪内清、高木保、橋本佐多寿、中野晃、佐川広一、藤田慈、滝田延季、佐藤貞吉、松本保夫、馬上融、高橋鉄次郎、吉田公安、飯塚仁一となつている

司會 志賀候補の顔ぶれはどうだ

A 志賀候補の方は西丸猛、近藤安雄、平野直康、富塚勝太郎、鈴木房吉、菅原勲、斎藤晃、小野礼一、田島繁夫、岡山武、高荻庵、小野義一、長瀬彰義、木田谷平、比佐政雄、丹賢一、黒沢広、中島勝、藤社大一、小島大造、鈴木貴義、飯塚新四郎、野崎貞行、鈴木イセ、柳内安子、長瀬啓一、松原文吾、小島源一郎、吉田利治、吉田子之吉、長瀬佳太郎、小浜長太郎、坪内清、高木保、橋本佐多寿、飯塚勝、大和田民部、牧田清、樋口二郎、内山治徳、堀越善六、芳賀トク、永井政男、四家勇雄、志賀久馬、草野隆美、竹原太津彌、鈴木一男、松原嘉内、相川幸太郎、坂本清治、西丸一、馬目伴助、小浜茂となつている

司會 これらの人達がそれぞれ前の二人を候補者に担ぎあげたというわけだな

C 形の上では推薦届でないからはつきりそうだとはいえないが結論はそういうことになるわけだ

D この両陣営の人達をよく見れば或る程度地元の人達は判断がつくというわけか

（つづく）

高潔な人材を選べ 志賀、立花 勢力は伯仲

B それは立花派の話だろう

D 小名浜に来て僕の受けた感じでは志賀派よりも立花派の方が所謂選挙上手といつた印象を強く受けたね

C 或る地元の報道関係の者から聞いた話では「志賀氏の地元区である古港では八割が立花にとられた、また馬島でも四分六分で立花が強い」とゆうことだ

司會 その見方は甘くないか

C だからね「立花候補当選確実」と報道したらよいだろうといつたほかないのだろう

司會 選挙上手とかお話がうまいというだけではどうにもならない、要するに小名浜の首長として恥しくない人物つまり人格者であるかどうかということだ、やはり人格高潔ということが第一の要件だと思うな

B この前の町長選挙ではお話の上手な立花さんと話下手の水野さんが争つて結局話の下手な水野さんが勝つたというのも面白い先例だつた、あのときは立花さんはリコールの直後で町民もまた「悪いことを絶対しない町長候補を選べ」といつた考え方が相当強かつたからだと思う

C それはいつの世になつても「悪いことを絶対しない人」をのが当然で志賀と立花の人格を育成者が本当によく研究し大小名浜の建設に寄り進せすに真直ぐ進める人を出すことが大切だ

司會 今度の立候補は三人だつたのか

C 両候補とも推薦届のごときものでいたようだつたが不備な点があつて推薦届でなくなつた

司會 その顔ぶれは判るか

B 立花候補の方からいうと永山辰之助、小野務平、三代義勝、鈴木治作、若松惣吉、江尻二郎、勇方長作、馬目喜衛門、小野作太郎、佐藤政治、佐川兵五、高木嘉一郎、稲葉実、小野一義、馬上次郎、佐川広一、藤田慈、滝田延季、佐藤貞吉、松本保夫、馬上融、高橋鉄次郎、吉田公安、飯塚仁一となつている

司會 志賀候補の顔ぶれはどうだ

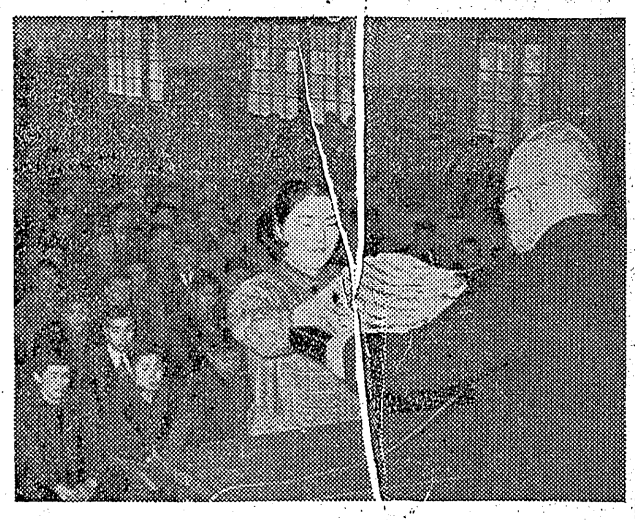
A 志賀候補の方は西丸猛、近藤安雄、平野直康、富塚勝太郎、鈴木房吉、菅原勲、斎藤晃、小野礼一、田島繁夫、岡山武、高荻庵、小野義一、長瀬彰義、木田谷平、比佐政雄、丹賢一、黒沢広、中島勝、藤社大一、小島大造、鈴木貴義、飯塚新四郎、野崎貞行、鈴木イセ、柳内安子、長瀬啓一、松原文吾、小島源一郎、吉田利治、吉田子之吉、長瀬佳太郎、小浜長太郎、坪内清、高木保、橋本佐多寿、飯塚勝、大和田民部、牧田清、樋口二郎、内山治徳、堀越善六、芳賀トク、永井政男、四家勇雄、志賀久馬、草野隆美、竹原太津彌、鈴木一男、松原嘉内、相川幸太郎、坂本清治、西丸一、馬目伴助、小浜茂となつている

司會 これらの人達がそれぞれ前の二人を候補者に担ぎあげたというわけだな

C 形の上では推薦届でないからはつきりそうだとはいえないが結論はそういうことになるわけだ

D この両陣営の人達をよく見れば或る程度地元の人達は判断がつくというわけか

（つづく）



きのうの成人式 平市

平市の成人式は十五日午前九時から第一小講堂に開かれた、成人になつた八百三十五名の半分約四百名が出席、和服姿の綺麗なお嬢さんも混り、大半が洋服姿、男子はいずれも長髪でクリクリ坊主は数える位だつた、大人になつた祝日とあつてみんなニコニコ、長谷川教育長の挨拶に次いで君が代を斉唱、諸橋市長の式辞があり、関内代議士、金古議長、渡辺教育委員長、田中市連青会長らの祝辞があり、めいめい記念の手拭を贈られた、成人代表の中野初男（神谷）の答辞があり、諸橋市長の音頭で万才三唱を行い、終つて映画（手拭が洩れなく贈られるなど有意義な一日をおくつた

七町村うち一部と合併 大平市の構想成る

平市では旧慣の市会で振興委員会を結成、本年から隣接町村の合併を促進することになつた、市当局の合併促進計画は次の通りである

【合併する主旨】平市は常磐地区における交通、文化、経済の中心都市であり、尋ね商業都市として発展してきたが市の区域が狭少なため将来の発展性が乏しく、昭和二十五年に隣接飯野神谷村を合併し面積四十六平方粁、人口四万五千百四十二人に拡大せられた、然しなら平市は鉱業モデル都市の指定を受け更に常磐地区綜合開発鉱業指定地域の中心都市であり且つまた平小鉄道敷設実現など市将来の発展を約束せられながら地域狭少のため工業立地に余地なく町村合併による市域拡大の緊要を痛感しておつたが、今般施行された町村合併促進法に則り次の構想により行政規模の増大に邁進せんとするものである

▼合併せんとする地域　さきに指定をうけた平市都市計画区域内の町村全部、即ち草野村、夏井村、村八分）と漫画が上映され盛況裡に正午ごろ散会した（写真は成人式で記念品を贈られるところ）

小名濱町

小名浜町並びに公民館主催の成人式及び青年祭は十五日打上げ花火を挙げ午前十時半より同町第一小学校講堂で開かれた、この日はおよそ四百余名の男女成人が参集して水野町長から成人証書が成人代表者に授与されたのち演劇研究会の演劇「墓標」「はたち」町有志の舞踊などを観賞、記念の名入り

錦町

の成人式は十五日午前十時から公民館で盛大に催された、成人の若人は百八十名で晴れの成人証書が授与後高木町長外来賓の祝辞と若人達の体験談の発表があつて多彩なレクリエーションが繰り展げられ終々裡に幕はおろされた

天気予報 十六日

【今晩】南東の風曇りで一時雨がふることもある

【明日】北よりの風大体は曇りで小雨がふることもあるがおそくなつて時々晴れるようになる

冬期特売大セール
寒波は今一度！　厳寒來襲！
紳士婦人オーバー
…實用防寒衣料破格品…
色別珍足袋　大人裏毛メリヤス　トツパー
男女純毛手袋　純毛コツトンシヤツ　半コート
マフラー　純毛セーター各種　婦人コート
靴下各種　子供服　防寒コート
御進物に便利な 商品券を！
衣料品のデパート
鈴藤
四丁目店 婦人服地専門の店
平指定商のチケツトをご利用下さい

商標マーク募集
懸賞
ざきに募集しました商標マーク応募作品の中から入選作品が見当りませんので再び募集いたします　ふるつて御応募下さい
店内に前回応募作品を展示いたしてありますから御参考願います
★賞金　1等 三万圓
選外佳作　10名様記念品
★図案　はがき大の白い用紙に黒一色
★期日　一月末日
★発表　2月10日店頭及いわき民報紙上
支店　平市三丁目（電1654 1956）
本店　平市四丁目（電 9 3 ）

移轉お知らせ
かねて新築中の店舗が完成いたしましたので左記に移転し営業をいたしております
倍旧の御引立をお願い申上げます
平市三丁目四六（平舘道り）
齋藤洋服店
齋藤光正

無競争の夢破る 町議選 立花派から出馬

小名浜町長ならびに町議補欠選挙の立候補届は十六日午後五時で締切られたが、正午現在までに町議補欠選挙は定員二に対し小野竹田の両氏が名乗りをあげただけで無競争の公算が強いとみられていたが、立花派の小名浜町神楽場四二無職杉本善之助氏（七）が町議補欠選挙に出馬することを声明し十六日午後から立候補届をすることになつたので町議補欠選挙も無競争の夢が破れ定員二名に対し立候補三名となつた杉本氏は本籍東京都千代田区平河町二の三で最近小名浜町にきたばかりで剛腕は少いがしかし立花派として今まで活躍してきたのと保守系から一名という有利な條件を得ているのでかなりの票をかせぐとみられている（写真は出馬を声明した杉本氏）

【町議補缺選】
杉本善之助（七）▼本籍東京、都千代田区平河町二丁目三番地ノ二、住所小名浜町神楽場四二▼職業無職▼政党無所属▼出納責任者なし▼選挙事務所自宅

(第三種郵便物認可)

二月から實施

植田町の學校給食

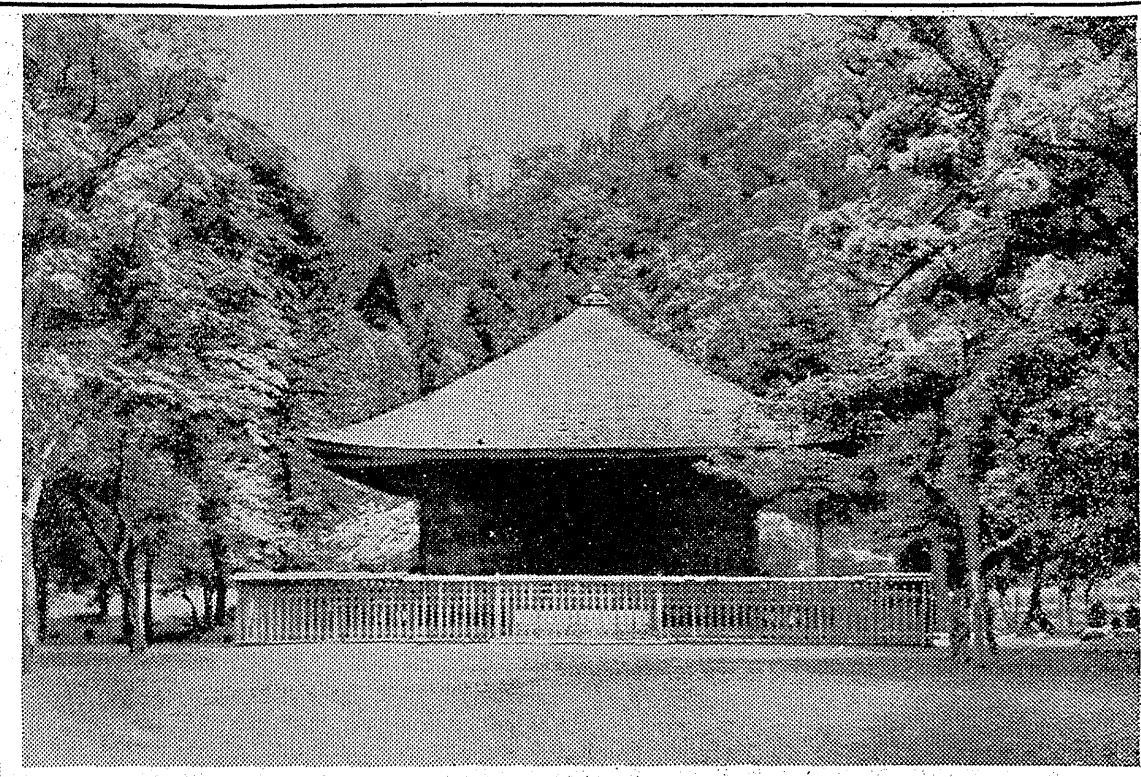
植田町教育委員会では小学児童の給食実施について町当局者と相謀り県に対し施設費に対する補助金を申請中であつたが、十二万円の交付を見るにいたつたので総施設費約五十万円の予算で（補助金を含む）来る二月から実施と決り十六日これが実施方法について町役場会議室で教育委員会を開いて具体的に協議した

凡そ二十名が参加し営養、農業技術の研究課題を発表する、なお郡長に若月石城地方事務所長が当り優秀者一名は県大会代表に選ばれる

郡下四Hク研究發表會

廿日に開く

石城郡下四Hクラブ実績研究発表会は二十日午前九時半から石城地方事務所会議室にひらき農村青年



葉ボタン作り好評を博す

園藝原種農場

県園芸原種農場では葉ボタン二畝ほどつくり、市場に出しているがとても好評を呼んでいる、一本十円の原価で売つているが街の小売店なら二十五円ぐらいはするもの鉢植としてすでに千二百本ほど出荷（写真は好評を呼ぶ葉ボタン）

料理認定講習會

植田町保健所では去る十三日から

コンクリートで復舊

物見カ丘の崖崩れ

昨年十月十四日早朝平市旧城跡二の一地内の物見カ丘附近の崖に起きた崖くずれの復旧工事はこの程県営冷害対策治山事業として工費六十万円で着工の運びとなつた、完成は三月末予定

この崖くずれ現場は巾二十米、高さ十五米にわたり復旧工事は麓にコンクリート製壁を造り崖中腹に階段式にコンクリートの壁を設け植樹して今後の崖くずれを防止、また通行路を修理するものである

勤續者表彰

平料藝組合

平料芸組合恒例の新年宴会は十五日平市田町大貞で開き次の組合功労者の表彰を行つた

▼永年勤続芸妓すみ子、ももや、小春、まり子、小菊、鈴丸、美智子、メ子、深雪、菊丸、れい子▼同従業員＝水口はま、渡辺美智子、小沢敏子、菊地淑子、石原貞、高島清次郎▼芸道表彰＝とみ子、深雪、小菊、すみ子、菊丸、鈴代、れい子、おもちや、えそほ、久奴

優良者表彰

靴商工協組

石城靴商工業協同組合では十四日午後一時から市公会堂日本間に、新年会を兼ね次の優良永年勤続者の表彰式を行つた、いずれも五年以上の勤続者で記念品が贈られた

▼十七年、石原定男（平市谷原靴店）▼九年松崎正也（平市松浦靴店）▼〃山中安治（湯本町栄原靴店）▼八年小林保昭（平市松浦靴店）▼六年渡辺昭男（平市藤田靴店）▼〃武藤礼報（湯本町栄原靴店）▼〃中村清三（湯本町中川靴店）▼〃水野重信（植田町小玉靴店）▼〃飯訪忠（植田町飯訪靴店）▼〃中村昭二（植田町飯訪靴店）▼〃須藤泰治（四倉町長谷川靴店）

好評の作

阿彌陀堂

高橋誠

十月の秋日和、阿彌陀堂は格別な静けさ、屋根の線が伸び伸びとして美しかつたのでシヤツターを切つた

フワストレックス、百分の一、F八、Y一フイルター使用、「さくら」バン（平市田町）

寸評　静かな秋の午さがり木立に囲まれた白水阿彌陀堂が訪なう人とてなく、もの静かに立つている、背景の森が順光線を受けて綠したゝるばかりに映え、堂を囲む柵のハイライトと共にお堂を浮ぼりにして、前景の樹木が画面を諧めている、良くまとめているがお堂の扉がつぶれ真正面の角度なので實感がなく堂そのもの印象が弱い、光と蔭の美しさを建物に充分に取り入れたら立体感も出て背景の良さとマツチして作者の意図する作品になつたろう

青い街

宮森明夫
丸山久壽畫

39

常陽銀行の角を曲つてくるのは美夜子らしかつた。津田は交通公社の前につゝ立つて待つていた。美夜子は知らずに通り過ぎようとした。津田が声をかけると、やつと気づき、赤くなつて近よつてきた。

「大分あわなかつたようだ。顔色、悪いな」

「えゝ、母が病気だつたもので会社休んでたの」

「そう、そりや大へんだつた。もういゝの」

「有難う、今日からでてきたの」

津田に誘われて、喫茶クラクに入ると、美夜子は愛い深いまなざしをあげて、カウンターの上に架つている額縁をみつめた。それは學宮がつれづれに描いた「アンゼラス」だつた。美夜子の視線の行方を追つた津田は、「アンゼラス」の絵だと分ると、直ぐ視線をはぐらせ煙草をくわえた。

「ところで美夜ちゃん、あなたにお願いがあるんだ」

「あら、どんなこと、お願つて！あたしにできることかしら」

「たいしたことじやないんだ、別に。由美さんところから學宮が貰いた〃ゲツセマネの夜〃持つてきてもらいたいんだよ、ただそれだけなんだ」

「どうして？」

「うん、この前遊びにきたんだそして何時の間にか、黙つて持つていつてしまつたんだ」

「まあ、どうしてなのでしよう美夜子の眼が、ふとかげつた。

「俺、持つてきてもいゝんだがあの女、どうも苦手なんだよ」

「……」

「しぶとい女だ。俺にも歯がたゝん」

「でも、可笑しいわ、津田さんにしちや」

「とに角、あれ、一冊しかないんだ。どうせ、あんな女、読んだつて、分りつこないよ」

美夜子は非難をこめた眼で津田をみた。

「そんなことないわ、由美さん女学校じや優等生だつたのよ。頭がよくつて、美人で、それはそれは、クラスじやクイーンだつたのよ！」

「へえ、そうかね！」

「ほんとうよ、そして、あのころ芥川の愛読者だつて…。多分、女子大では文科だつたんじやないかしら？」

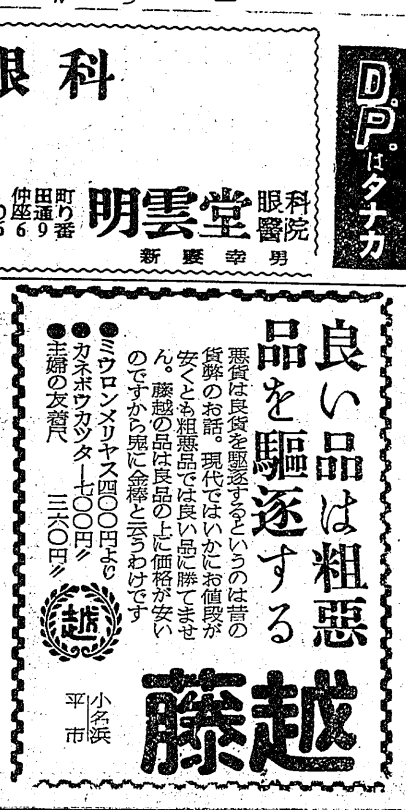
「おや、おや、こりやニユースだ。しかし、それにしちや、インテリジエンスがないな。龍之介じやなくつて、せいぜい紘二郎ぐらいのところじやなかつたのかな」

「そんな言い方、いけないわ。あの人、わがまゝで勝気だから誤解されるのよ、きつと」

「誤解か、まあいゝさ」

「よしましようよ、由美さんのお話」

美夜子は微笑を浮べ、ウエイトレスが運んできたコーヒーを静かにのんだ。



百五十俵を押収
けさ列車を急襲

平地区駅及び国警県本部機動班平分隊では十六日早朝常磐線上り急行二〇列車、二二列車を急襲し検挙した、ヤミ米の横行は年始から旧正月にかけて急激に増加しており悪質業者杉本テルは寿司の折箱や菓子箱に米を分けて入れ三斗分をゞおみやげ品ゞに見せかけて運搬中のものだつた

杉本テルの両名を食糧法違反者として

梅の花咲く
暖冬異變で

暖冬異変で梅の花がチラホラ咲き出した、こゝ平市鎌田山二中にゆく途中の山中で三、四輪ほころび出したもの（写真は咲きした梅）

ナイフで右肺にたつする金治二十日間の重傷を負わせ小名浜地区署に捕まつた、両人は豊間町中学校前の砂防工事現場に働いていたが同日大和田少年が叔父の巍男さんに俸給をもらつてきてくれと頼んだことから口論となつたもの

飛降り損ね重傷

四倉町新町薬品業深谷保助さん(四)は十六日午前五時五十五分ごろ四倉駅下りホームで下り二二一列車から飛びおり損ね頭部に全治三週間の裂傷を負い四倉町木村医院に入院加療中

圖々しい泥棒
格闘の末遂に捕る

北海道生れ住居不定無職小林清二(二)は十五日午後八時ごろ湯本町三函二三四畳作業高田勇治さん方に忍びこみ、こたつにあたつていた妻チエさんに長男の茂さんのようにに見せかけタンスの中からオーバーと背広を盗んで脊がえをしているところを帰宅した茂さん(三七)に発見され、逃走したが格斗の末捕まり湯本地区署に突出された

三輪車とバス
正面衝突
バスが破損

十六日午前十一時六分ごろ高久村下高久字川和久地内県道上で豊間町浦磯字南町水産加工業鈴木政男(四)の三輪車と常磐交通KK平一い人斎に被害なかつた

ナイフで刺し
重傷を與う
豊間でケンカ

十五日午前七時半ごろ豊間町大字沼の内字新街十七大和田某(七)は叔父の同町沼の内字浜街六十大和田巍男さん(四四)に刃渡七センチのナイフで右肺にたつする金治二十日間の重傷を負わせ小名浜地区署に捕まつた、両人は豊間町中学校前の砂防工事現場に働いていたが同日大和田少年が叔父の巍男さんに俸給をもらつてきてくれと頼んだことから口論となつたもの

原案通り可決
湯本議會　合併促進委結成

湯本町臨時町議会は十四日午前九時からひらき次の六議案を附議原案通り可決した

▼下水側溝用地として水野谷字千代鶴小泉イトさんから四坪(一天王崎五〇地内)の土地寄附採納▼図二函若松光一郎さんから三・五坪(二函一一七)の土地寄附採納▼教育委員会事務局職員定数条例一部改正(三人を四人)▼教育長の諸給与支給に関する条例制定(月額給料は二万円以内)▼教育委員会事務局職員諸給与に関する条例制定(町職員に関する条例を適用する)▼町税条例一部改正など

なお議会終了後午後一時から協議会に移り石城地方事務所若月所長から視察があつた磐崎村との合併問題について県地方課から佐藤主事の出席を求め説明をうけた後種々懇談した結果、合併促進委員会を結成することをきめ町議会正副議長、総務正副委員長、各部常任委員長および教育委員長その他各種団体から委員を選出し積極的な運動を展開することになり散会した

内郷町でも
合併委結成

内郷町臨時町議会は十四日午前九時からひらき沼田町長から石城地方事務所で示された磐崎村との合併案について説明があり、討議した結果、永戸磐崎村内郷町合併促進協議会を結成し事務所を内郷町役場に置き諸調査を開始するとともに部落会、部落別懇談会をひらき実現運動に猛進する事になつた

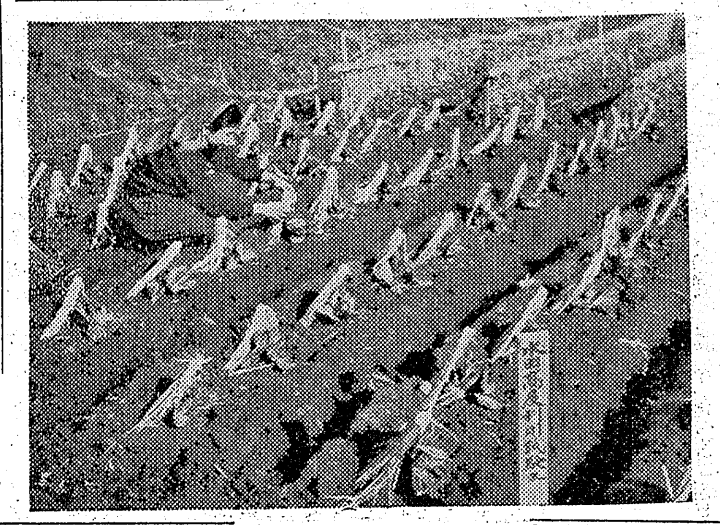
ガラスを破る

下手な自転車乗り

十四日午後三時ごろ好間村上好間

三百萬圓で出來る
城坂跨線橋　近く市會へ

十三日、水戸管理局から川崎総務課長、佐藤工事課長ほか技術者三名が来平、平市当局の依頼で城坂踏切りに跨線橋を建設する計画に基いてその実態調査を行つたが、その結果十数三百万円程度で建設出来ることが明らかになつた、延長六十米、幅延二・二米(有効幅延一・八米)のもの、市当局ではこの調査に基き近く特別委員会を開き検討の上、市会に諮り建設準備を急ぐことになつた



歌と演劇會
内郷鑛連青

常磐炭鉱内郷鉱連合青年会文化部および同鉱青少年部共催の歌と演劇の会は十八日午後一時から浅野記念館にひらく、従業員家族を慰安するため川平坑のタンゴ・バンド、西区のハワイアン・バンド、セパンニュースNO51を選任した

春にセパート鑑賞會
登錄協會の行事決る

JSA日本セパート登録協会浜通り支部(支部長野崎理夫氏)の第一回支部総会は十四日平市マルモホールにひらき本年度行事に今春四月中旬ごろ平市桜まつり行事とタイアップして浜通りセパート大観覧会、また今秋にセパート全国展覧会を開催することを決定した、なお三田村副支部長の辞任による後任は鎌田徳三郎氏(平市)また顧問に関内代議士、諸橋平市長宇佐見平市署長、佐藤平地区署長、鶴田内郷署次席、野崎平市議を選任した

水田裏作の高度利用
原種農場の試作品注目さる

県園芸原種農場では水田の裏作を高度に利用するため麦に変つてタマナ、ソラマメ、エンドウ、葉玉ネギ、キク、ホウレン草などを栽培、昨年から試作中であつたが今年は暖冬異変のおかげで成育も良好まだデーターは出来ていないがその結果が良好ならば一般農家にも奨励しようと研究中である

(写真は試作中のソラマメ)

第二婦人會例會

平第二小学校第二婦人会では十七日午前十時から同校に総会をひらき新年顔合せ並びに本年度行事計画を協議する

ダレス長官重大演説

アジアで侵略起せば米国は直ちに中共を攻撃するもしこれが実現せば川向うの火事と傍観は出来ない昔から腹がへつては戦さは出来ぬ「おむすび」では間に合わぬ、それパンだ備えあれば憂なしパン食をおすゝめ致します

ビタミン・カルシウム入

榮養パン

★土・日曜一割サービス券差上げます

パンとオヤツの店　平製パン　電二一五七・二一

菊多て園長會議

菊多方部消防團正副團長及び庶務部長合同会議は十六日午後一時から植田地区署会議室で開かれ秋季幹部大会開催について協議した

コンロ用石油特賣會

コンロ用石油を左記により特売致しますから大丸石油優待券と容器を御持参下さい

▼期日＝一月十七、十八の二日間(十時より四時まで)
▼場所＝大丸亜給油所及び各大丸営業所
▼数量＝八升(コンロの友一瓶満入すれば一斗に使えます400円)

石油が何時でも買える　石油コンロ　特売中

株式会社　大丸

本店　平市三町目大丸ビル2階
営業所　平、小名浜、四倉、日立、東京

新しい年…
貴男の感覚に
マツチした
新しい型の…
レデーメード
"サンシャイン"
オーバー　セピロ
Sun SHINE SANTOKU

本かや
平二〇三

洋品・洋服の店
今がお買徳の好機！
オーバー
半オーバー　大割引
特賣中
セピロ　メリヤス
ジヤンパー　学童服
替ズボン　ワイシヤツ
セーター　その他
平指定商のチケツトを御利用下さい
成光堂
平市田町銀座通（電呼1383）

最も気のきいた贈物
プラチナ萬年筆
新型續々發賣！
14金ペン付800円より

平市　岡萬年筆店　電話399

日刊（除月曜）1カ月金100円郵送126円 定価一部5円
（第三種郵便物認可）
いわき民報 夕刊 昭和29年1月17日（日曜日） 第2349号（4）

学芸

お手つだい

二年 鈴木睦子

おかあさんが「むつちやん、にわをはいてちようだい」といいました。わたしは「はい」とへんじしたものおきからほうきをとつてきました。だいどころのすみからすみにはいてげんかんでちりとりにとりました、にわにはわとりがでていました。おかあさんが「むつちやん、にわとりにえさをたべさせてちようだい」「どこにあるの」ときますと「げんかんのよこにありますよ」といわれたのですぐわかりました。えさをやりにいくと、とりがよろこんでてきてはばけつをつついたりしてとてもうれしそうです。木のはこの中に入れるとみんなでつついたりしてけんかをしてたべていました。戸をしめてくるとめんようもなきだしました。草があつたのでやつたらたべてしまつてからまた「めー」となきだしました。草をやるとなきやみました。みかんのかわやりんごのかわをめんようにたべさせました。おふろの火をみながら本を読んでいるとパチパチと音がしたのではつと思つて本をはなしていそいでてきました。おばあさんが「よくみてないとかじになるよ」といいました。「はい」と返事をしてまた本を読みつづけました。いいおゆになつたのでじいちやんがはいりました。わたしが「あついですか」とききますと「ぬるいからもつとたいておくれ」といつたのでどんどんたいていつたら「もうこれくらいでいい」といつたのでたくのをやめました。「もうごはんだよ」とおかあさんがいつたので手をあらつてごはんをたべましたが、おてつだいをしたのでおいしかつた。

とんぼ

五年 丹野紀男

すみきつた青空にすいすいと赤とんぼがまるで木の葉のように飛んでいる。

ぼくの家の前のものほしなわにも二三十匹位とまつている。ぼくはそーつといつてつかまえようとしたがなわに手がふれてにげられてしまつた。

そこから三丁ほどさがつてとまつてとんぼを見つめていると、今度は花畑のなわにとまつた。

家に行つてあみをもつて来た。あみをもつて花畑に行つたがまた失敗してしまつた。今度はまたさつきのなわにとまつたので、今度こそは失敗しないように細心の注意をはらつてそーつと行つた。

つかまえた。つかまえた調子に菊の花がおれてしまつた。お父さん大事にしておいた花をおつてわるいなあーと思つた。

おれた花を土の中にさしてみたがとてもぶかつこうだつた。

つかまえられたとんぼは、小さな頭を左右にうごかしている。なんだかぼくはかわいそうになつた青空はとんぼをよんでいるように見えてならない。とんぼをはなしてやると、とんぼは喜んで飛んで行つた。とんぼは仲間の中に入つてどのとんぼかけんとうがつかなくなつてしまつた。

ぼくの心も青空の中に入つていくような気がした。

スキー日記 (3)

磐女高体育部

一月五日

六時半起床、スキーを履いてゲレンニに行く、日光が雪に反射してまぶゆい、昨夜は雪も降らず暖かいため雪が溶け始め柔かい、昨日は雪の面がすべすべしていて恐ろしかつたがそんな事何のその、みな体を自由に使い、ステム・クリスチャニアもストツクを使つて止まる事も出来る様になつてほんとうにうれしかつた、これまでになるには各々が何度か転び足にぶちみがつく程練習したからである女坂のゲレンデー、混雑していたがその中を人にぶつかつて転ばずに上手にストツクや体を使つてくぐつて行ける様になつた、午後からは女坂では物足りなくなつて男坂のゲレンデーに行く、そこには私たちの様な初心者は見あたらない皆が皆一人前のスキーヤーの様な感じで滑つている、男坂は女坂と違つて急で恐ろしい様であつたがすべつてみると仲々愉快なものである、カーブの練習をしてここでもステム・クリスチャニアをしたステム・クリスチャニアが出来る様になつたのでどんな急な坂でも自信を持つて滑れる様になつた次に四十五度位の傾斜の所で直滑降をやつたが、磐女以外のスキーヤーはそれを見て「度胸がいいなあ」とひやかされた、重心のかけ方が上手だつたのでだるまにならずにすませた、それから山スキーに出かけた、昨日と同様に二段滑走を二、三度練習して山を下つた昨日は何度か転んだ人もいたが今日はだれもが転ぶ回数が少く、一度も転ばずに下つた人もいて誠に痛快なる気持であつた

夕食は最後の晩さんである蒸残り野菜全部と十人で肉二百匁以上と卵を十二、三個を入れ、すき焼をして食べた、全く栄養鍋であつておいしかつた、今晩も御馳走でその間、三年は成田先生とスキーの反省と来年の希望を述べ合つた各室ごとにレクリエーションをし一時半消燈した、明日も晴天が良い様にと祈りながら床についてしまつた

一月六日

今日はいよいよ最後の日である昨夜六時起床といわれて床についたが時間が来ても皆頭を上げ様としない、六時半ころやうやく起きた、いつもの通り顔を洗つて朝食八時まではゲレンデの方へ行つている様にといわれて磐下四度の所で用意してゲレンデの方へ行つた磐下四度といつてもそんなに寒くないのである

今日は最後の総仕上ですから今まで習つたものですべる様にといわれた、昨日は雨が降つて来てけて来たのでそんなにすべらなかつたので皆上手にすべつて止り方も出来たので、今日もすべれると思つてすべつたのだが昨夜ひどく寒かつたのでこおつた上に雪が少し降り氷の上をすべつている様で止ろうとしてもスキーが流れてしまつて止らなく風が出て来たので雪けむりが上り手はかじかんでしまつて先生に頭んだ、平に近すくに唆き盛楽しても来年来た と口々に孝子

町通り（松浦靴店隣り）に新店舗を開き営業することになつた

（写真は斎藤洋服店）

思出多い乙女のあこがれのスキー行に参加して人生に何かプラスした様な気持、つくづく健康な自分がうれしい（終り）

（三年D記）

商店だより

斎藤洋服店で新店舗

平市二子目斎藤洋服店はこの程南

今晩のラジオ

16日

NHK 一三六〇KC

午・四五 （福）幕曲 小鳥の歌ほか
午・五五 二十のとびら ゲスト川田孝子
午・〇五 なつかしのメロディ 藤山一郎
午・三〇 とんち教室 石黒敬七ほか
九・一五 かくて夢あり 大林清作

今日の映畫

★平館二十日まで夜6・47
若君逆襲す 霧の第三機橋
★民劇二十日まで夜7・10
曲馬團の魔王 復讐は他に任せろ
★泰楽館十九日まで夜6・15
終着駅 鎗をあげて（天）色彩漫画（ブルの父ちやん）
★ひかり座二十日まで夜6・25
旅がらす次郎長一家 夜ごとの美女
★世界館二十日まで夜6・47
十代の誘惑 怪猫有馬御殿ディズニイ色彩漫画（リスの冬支度

★舊正月前皆様にお贈りする 防寒用品奉仕大會 ★★★

贈つて便利な…… 商品券 200円より

★本格的寒さを迎えて防寒用品に 次々新安値を發表致し 御奉仕させて戴きます 各店店頭店内を御一覧下さいませ★

平本店 平支店 平丸店 金坂店 湯本店 小名浜店

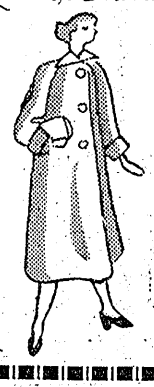
皆様の利益を護る店

大黒屋

★呉服・舊正の衣裳なら…
高級防寒コート 正札の一割引提供中
銘仙、名古屋帶奉仕大会
優良柄ネル（一ヤール） 八五円
優良白ネル（〃） 七〇円
実用呉服の大特売会
旧年末の贈答用品陳列中
皆様の平本店へ

★婦人・子供用品なら…
婦人・子供オーバー 大巾値下提供中
高級殿方ネクタイ（純毛） オール二五〇円均一
高級スーツ、トツパー陳列中
ベビー用品、家庭用品
防寒裏毛メリヤス奉仕中
皆様の大丸店へ

★服地・既製服洋品なら…
殿方オーバー 正札のオール一割引提供中
婦人子供オーバー 大巾値下新安値提供中

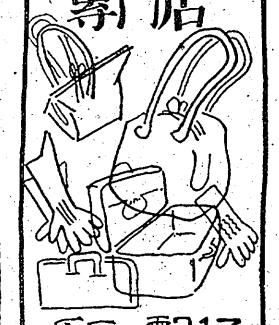


純毛婦人セーター 均一奉仕 八〇〇円 九八〇円 一二〇〇円均一
特撰マフラー新安値発売中 七五〇円より
新柄ショール 一八〇円より
新柄スカーフ
皆様の平支店へ

旧年末 年始の贈答用品を豊富に取揃えました 今年もまた 大黒屋に御用命下さいませ

平支店に於きましては純毛トツプ染毛糸300ポンドに限り（1ポンド）2000円を1400円に大奉仕中ノ売切れぬ内に御来店下さい

カバン袋物洋装専門店



平二 電317 福山

ミシン

日芝福 バインミシン
助浦 ミシン
工場 植田町北台町電三六
営業所 植田町本町電呼三〇

飯塚ミシン商會

洋食 中華料理
壽司 やぶそば
冬のソフトクリーム
●毎日特価サービスをいたしております 御利用下さいませ
食事のデパート 不二屋
平市中央通り世界館前
電886 1750

特製 美味
シューマイ
ワンタン
☆何時でも喰べられうまくて安い…
さかえ食堂

常磐 黒ダイヤ洋裁
平市田町電九三六 市川パン店

江戸前壽司
割烹 小料理 和洋食 そば
◇明るく衛生的で手際く安い
奈加やの味覚をゼヒ！
料理見習募集 16—20歳まで
出前迅速
奈加や
平柳橋小路 電395

ハリウッド美容室
どうぞお入り下さいませ
平二五番地 帯化粧